

会 長：大原浩行 幹 事：川上 勉
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842

連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>
例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 07.04】
就任あいさつ
クラブ役員
クラブ管理運営委員会

よいことの
ために
手を取りあおう



次回のプログラム

【通常例会 07.11】
大橋会員卓話
企業とCSR
クラブ管理運営委員会

第 1249 例会報告 (2025.06.27)

点 鐘	大原浩行 会長
国歌斉唱・R ソング	なし
本日のプログラム	例会決議 クラブ協議会Ⅳ
ゲスト・ビジター	宮本めぐみさん(会員候補)
環境月間	

会長報告



会長：大原浩行

👉 皆さんこんばんは。本日は大変暑い中「信嶋さん復帰記念コンペ」に参加されたメンバーの方々はお疲れさまでした。5月にやる予定でしたが雨で中止になり1か月遅れで実施できたことうれしく思ってます。本日は今年度の最終例会で「タスキ引継ぎ式」ですが会長、幹事とも変わりますので式はありません。夜間移動例会として実施いたします。夜間例会の前に例会決議及びクラブ協議会がありますので皆さんよろしく願いいたします。

幹事報告

幹事：川上勉

❖ 大高ガバナー事務所から送られた「文書通信 392 号」を送信しました。ユーザー名とパスワードが必要です。
❖ 6 月 8 日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長セレクトの予期せぬ辞任を受け、フランチェスコ・アレツツォ氏(イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属)が、2025-26 年度国際ロータリー会長として理事会により選出されました。アレツツォ氏は 7 月 1 日に会長に就任します。
❖ 2025.06.27.最終例会に例会決議が開催されます。
❖ 2027 年の国際大会が米国ハワイ州ホノルルに決まっておりましたがコンベンションセンターの施設全体の回収スケジュールの延長が決定し中止となりました。外の開催都市を探しているようです。
❖ この度は、2025 年 7 月 1 日までにクラブ会員と役員の情報をご確認いただきたくご連絡しております。国際ロータリーではこの情報に基づき、2025 年 7 月のクラブ請求書を作成いたします



■出席状況

会 員	14 名	出席率	92.85%
出 席 者	13 名		
WEB出席	名	Make-up	名

定款第10条(第6-7節除く) 鈴木タ会員

■ニコニコボックス

目標額	(本年度)	400,000 円	
実績額	本日/累計	19,000円	436,000円

■MESSAGE

大原会長 今日ゴルフは熱かった！
川上会員 一年間おつかれさまでした。
海老原会員 今日の何の日：6月27日は松本サリン事件が起きた日です。被害者は死者8人、重軽傷者600人に及びました。第一報通報者の被害者が半ば公然と犯人として扱われた。
鈴木会員 ゴルフお疲れさまでした。
長友会員 信嶋さんの健康を祝して！ 大原会長 川上幹事1年間お疲れさまでした。
信嶋会員 今日は快気祝いコンペありがとうございました。
荏澤会員 おいしそうです。
横山会員 又、熱い(暑い)ゴルフがやってきました

例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事
TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。≫

本日のプログラム

「ガバナーメッセージ」



国際ロータリー2820 地区
2025-2026 年度ガバナー
瀬戸隆海(水海道 RC)

🔔 ロータリーアン、そしてローターアクターの皆さま、新しいロータリー年度を迎え、それぞれのクラブにおいては新しい年度に向けて活動がスタートされたことと存じます。私も

ガバナーに就任するに際し、2月にアメリカのオーランドにおいて開催された国際協議会に参加して、様々な方々と意見を交わしてきました。国際協議会に参加するにあたっては、当時大高ガバナーをはじめ先輩パストガバナーに大変だった苦労話や心得を十二分に聞かせていただきました。ガバナーになるって大変なんだなあと覚悟を決め、同期のガバナーの仲間たちと羽田を出発しました。時差ぼけを解消するため開催2日前に現地に到着し、仲間たちと食事会をしたりして時間を過ごし国際協議会会場に臨みました。

会場には世界各地のガバナーエレクトとパートナー（ロータリーは奥様の事をパートナーといいます）、そして国際協議会運営関係者の1500名弱の人で溢れ、新しい年度に向けての意気込みをもって活気に満ちていました。さて開会セレモニーでは、マリオ会長は RI 会長メッセージで『よいことのために手を取り合おう』と述べられました。会長テーマでなく会長メッセージです。このことは、昨年度から取り入れられているロータリーの3年間の目標と計画(3-year Rolling Target / Plan)を具現化した対応です。目標に向けて継続性をもち、新しい方向に突き進むということです。毎年行われている RI 会長メッセージ(テーマ)の発表の瞬間に立ち会えることのできるの、国際協議会に参加できる人の特権です。

昨年の暮れにマリオ会長が日本に来られて、エレクト達との懇談会がありました。国際協議会の前に来日をして意見交換を行うということは、初めてのことであり、とても異例なこと。逆に、あなたはどの目的で日本に来ましたか?といった質問を投げかけた事。その時に、来年の会長メッセージは決まりましたか?と質問が出されました。会長の答えは、決まっているけど今は話せない。だって今話してしまったら発表の瞬間のセレモニーが楽しくなくなってしまう、と言われたくらいです。つまり、あの瞬間が国際協議会の大会イベントなんです。皆さん方で、あの瞬間の醍醐味を味わいたかったら、是非ガバナーになってください。

さて、マリオ会長が『よいことのために手を取り合おう』と言われた事には、どのような意味があ

るのでしょうか。様々な受け方があるかと思いますが。会員増強からの考え方は、多くの人々たちにロータリーの仲間になっていただいて、一緒に手を取り合おうという考え方もあるでしょう。マリオ RI 会長は、ロータリーの最大の財産は会員であり、個々の会員が協力することで世界を変える力があると述べられました。つまり、多くの人々が手を取り合うことで、世界平和に貢献できるということでもあります。この意味することは、会員増強をし、新しい仲間を増やし、クラブを活性化しようということでもあります。それも、仲間のターゲットを若い年代層に絞っていることです

クラブ会員は、悲しいかな誰もが老いていきます。しかし、若い層の会員を常に取れ入れることによって、クラブは若返っていきます。ある統計によれば、若い会員が5年以上入会がないクラブは、5年後には消滅するとまで言われています。是非とも、若い仲間たちと手を取り合っていたきたいと思います。

奉仕という面から考察すると、世界中でロータリーを、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」と称されている今、ロータリーをより拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にしていくということでもあります。会員がふえることによって、財団の寄付の成果があがり、その資金を奉仕活動に活用するということです。ロータリーの大事なことは、四つのテストに基づいた職業奉仕、社会奉仕を通じて、仲間達との輪を上げ、そして寄付を行うことによって、より社会貢献を行うことでもあります。それこそ、よいことに手を取り合おうということです。

私の座右の銘とする詩に「時は今 ところ足元 そのことに打ち込む命 永久の御命」があります。この事をメッセージとして紹介した時に、今年のガバナー補佐、総括委員長の皆さまは、それぞれに素晴らしい解釈をしていただきました。本当にありがたかったです。一言で言ってしまうと、温故知新ともいえるのではないのでしょうか。それぞれの方が色々解釈していただき、ロータリー活動の指針にいただければと思います。

それぞれの会員諸兄の活動の成果、ご健勝を祈念し、新年度としてもごあいさつに代えさせていただきます

